

## ◆ Part02：大学での生活と学習

【13】

- 力を入れたこと (p.14) ……「授業」「自主的な学習」は増加、「サークルや部活動」は減少
- 大学教育観 (p.15) ……「単位を楽に取れる授業」「学習方法は授業で指導」が増加
- 大学の授業の様子 (p.17) ……微増している項目が多いが、授業の様子は大きくは変わらず
- 大学の授業の形態 (p.18) ……コロナ禍で停滞はみられるが、AL型の授業は広がっている
- 授業に対する取り組み (p.19) ……グループワークで「異なる意見に配慮」「意見を言う」が増加
- 学習に対する態度 (p.20) ……科学的な学習態度に対する肯定率(自己評価)が高まっている
- 生活時間 (p.21) ……授業は大幅減の一方で、予復習・課題は微増、自主学習は変化なし
- 登校日数 (p.22) ……平均登校日数は回復基調にあるが、19年の水準には戻っていない
- 授業の形態／効果実感 (p.23) ……現在の授業形態は対面が多い5割、オンラインが多い3割
- オンライン授業のメリット (p.24) ……学習効果よりも、自由・マイペースにできることの評価が高い
- オンライン授業のデメリット (p.25) ……「一方的な授業が多い」「対話や議論がしにくい」が多い
- 身についた資質・能力 (p.26) ……協働的な学びで身につく資質・能力の自己評価が高まる

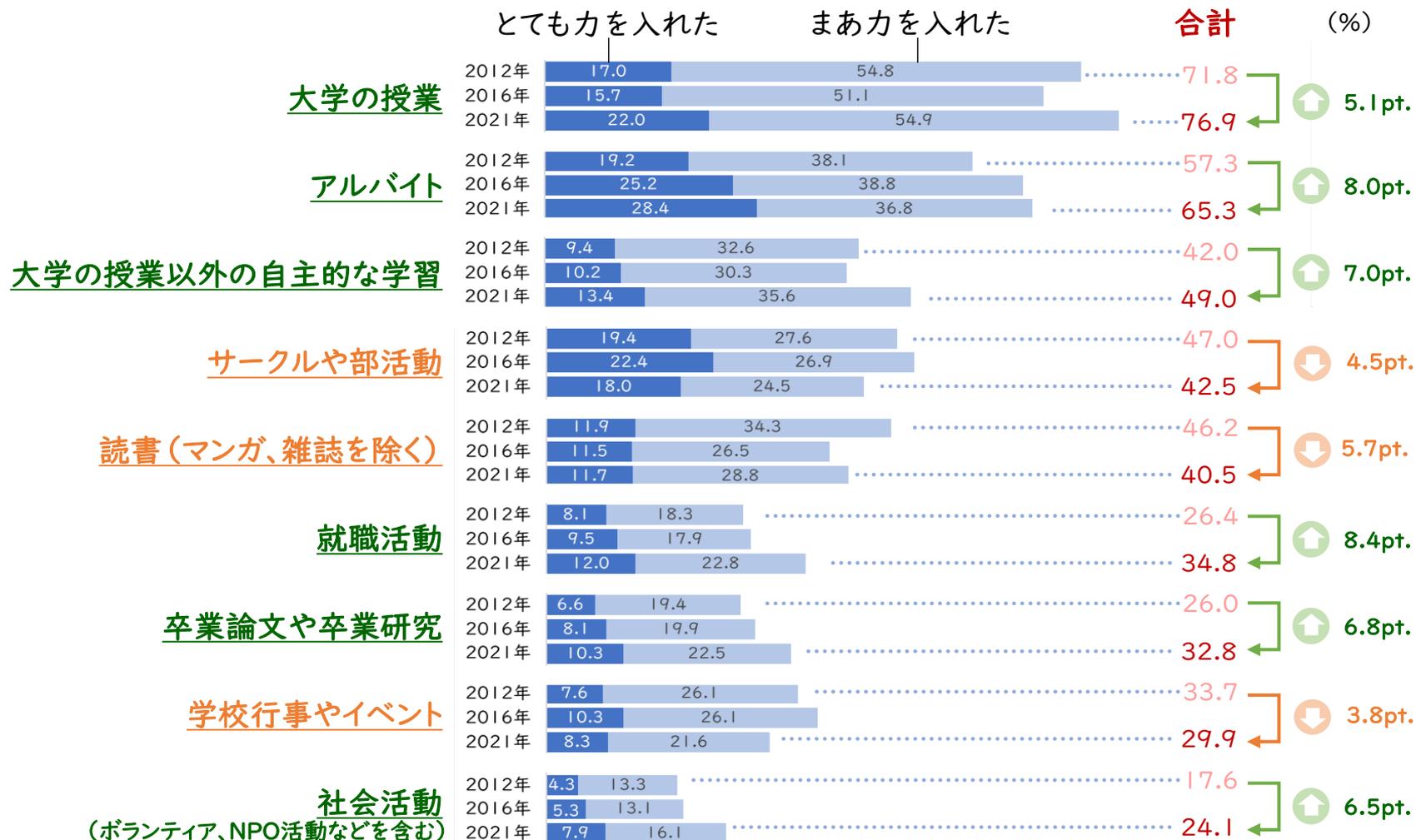


## ◆力を入れたこと

【14】

## ●「授業」「自主的な学習」は増加、「サークルや部活動」は減少

◆あなたは次の項目について、これまでの大学生活の中で、どのくらい力を入れてきましたか。



※2008年は調査していない。

## ◆大学教育観①

【15】

## ●「単位を楽に取れる授業」「学習方法は授業で指導」が増加

◆大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか。

## ①単位取得

【A】あまり興味がなくても、単位を楽にとれる授業がよい

【B】単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい

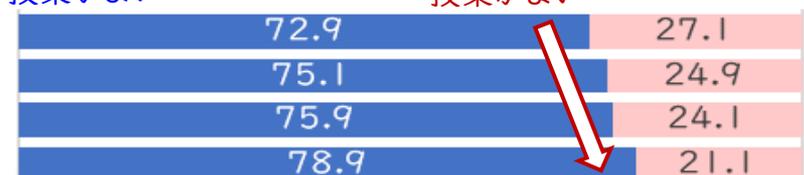


## ②授業難度

(%)

【A】応用・発展的内容は少ないが、基礎・基本が中心の授業がよい

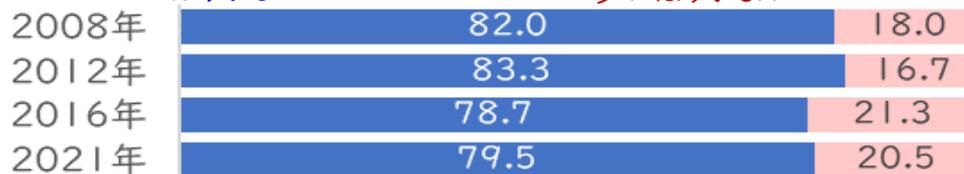
【B】基礎・基本は少ないが、応用・発展的内容が中心の授業がよい



## ③授業形式

【A】教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい

【B】学生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい



## ④身につけたい知識

【A】大学では幅広い分野の知識や技能を身につけたほうがよい

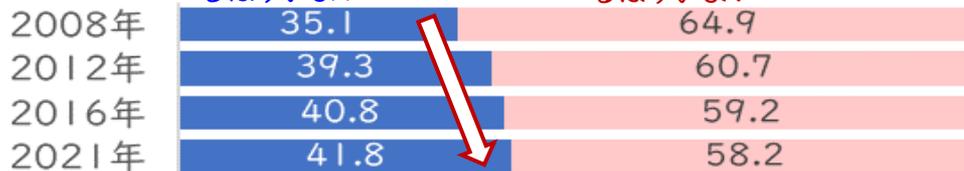
【B】大学では特定の専門分野の知識や技能を身につけたほうがよい



## ⑤単位の系統

【A】あまり自由に選択履修できなくても、系統立って学べるほうがよい

【B】あまり系統立って学べなくても、自由に選択履修できるほうがよい



## ⑥学習方法

【A】大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるのがよい

【B】大学での学習の方法は、学生が自分で工夫するのがよい



# ◆大学教育観②

【16】

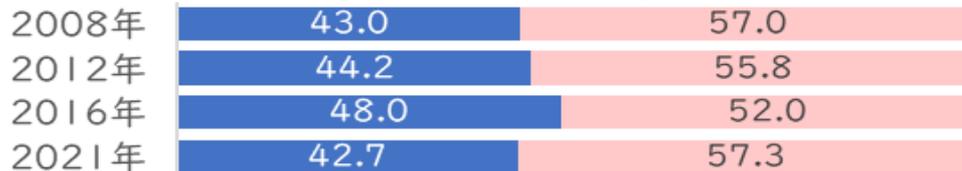
## ● 「学生生活は大学が指導」「知識・技能の獲得は大学の責任」が増加

◆大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか。

### ⑦将来決定

【A】学生は将来やりたいことを決めて、授業をうけるほうがよい

【B】学生は授業を通じて、将来やりたいことをみつけるほうがよい



### ⑧学生生活

(%)

【A】学生生活については、大学の教員が指導・支援するほうがよい

【B】学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい



### ⑨就職活動

【A】就職については、大学の指導・支援にもとづいて活動する方がよい

【B】就職については、学生の自主性にもとづいて活動する方がよい



### ⑩重要な学び

【A】大学では、答えのない問題について、自分なりの解を探求する学びが重要だ

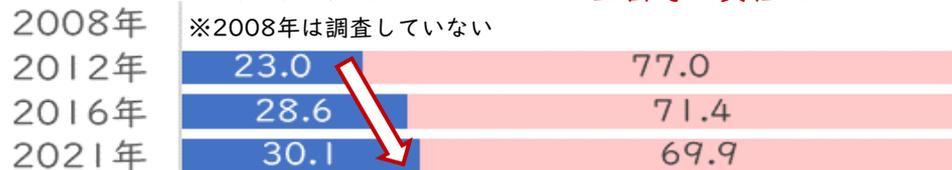
【B】大学では、既にある学問の知識について、体系的に修得する学びが重要だ



### ⑪責任

【A】学生が知識や技能を身につけられるかどうかは、大学の教育の責任だ

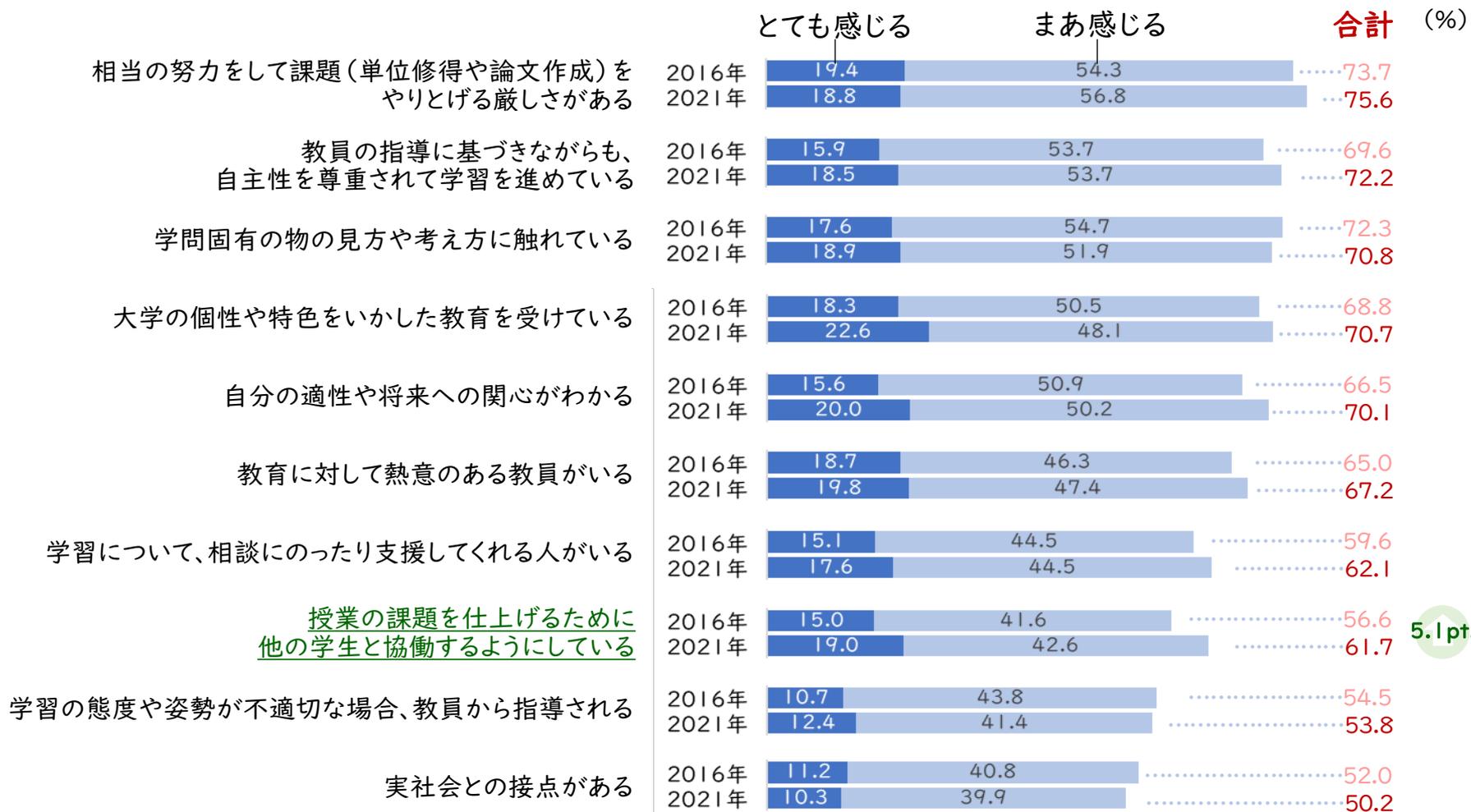
【B】学生が知識や技能を身につけられるかどうかは、学生自身の責任だ



# ◆大学の授業の様子

●微増している項目が多いが、**授業の様子は大きくは変わらず**

◆大学教育（授業、ゼミ、研究室、先生からの指導など）を通して、次のようなことをどのくらい感じますか。



5.1 pt.

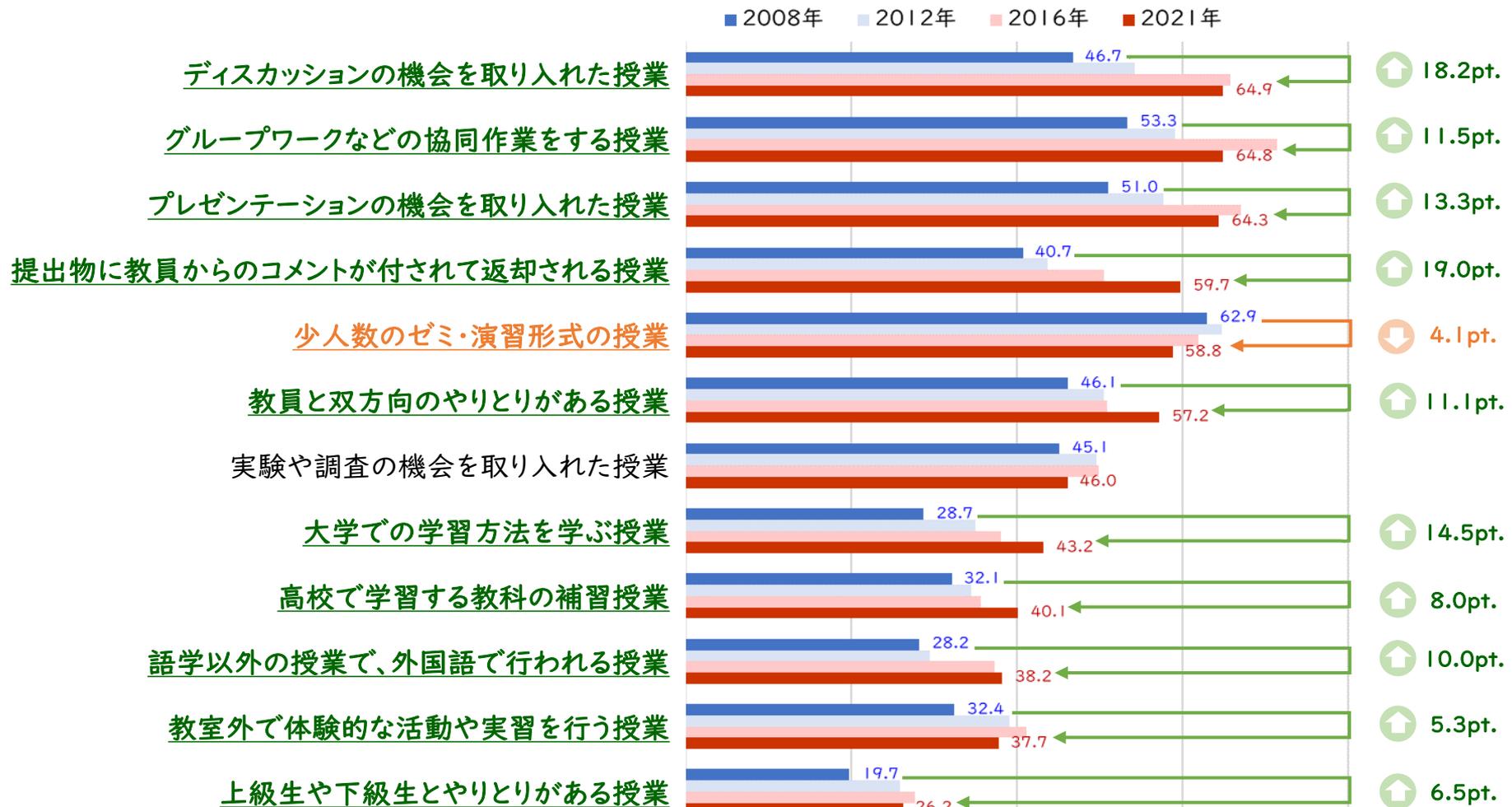
※2008年、2012年は調査していない。

# ◆大学の授業の形態

【18】

●コロナ禍で停滞はみられるが、AL型の授業は広がっている

◆あなたはこれまで大学で、次のような授業を経験しましたか。 ※「よくあった」+「ある程度あった」(%)



※4時点で比較できる項目のみを抜粋、2012年と2016年の数値の表記は省略した。

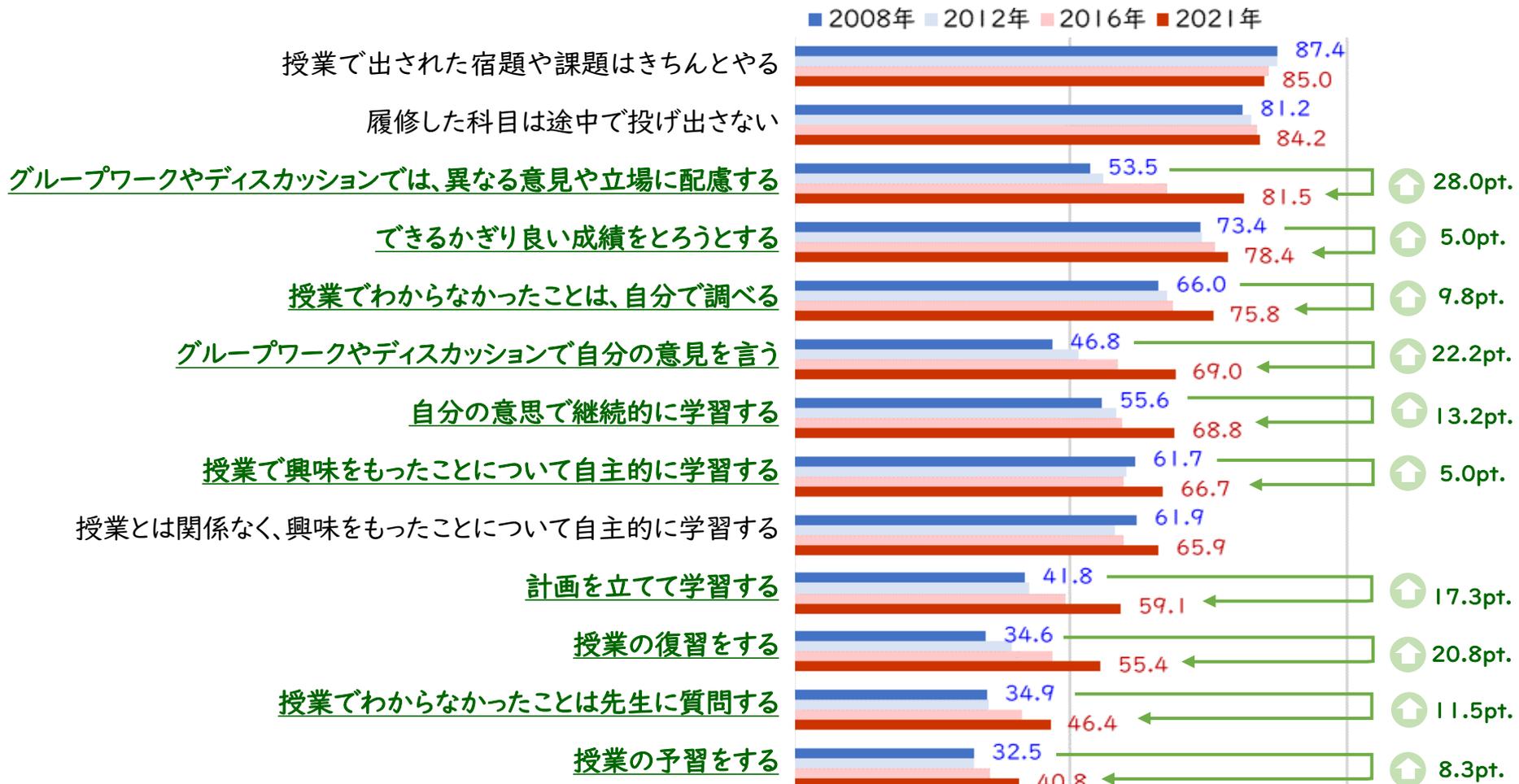
# ◆授業に対する取り組み

【19】

●グループワークで「異なる意見に配慮」「意見を言う」20pt.以上増加

◆あなたは大学での授業に、ふだんからどのように取り組んでいますか。

※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」(%)



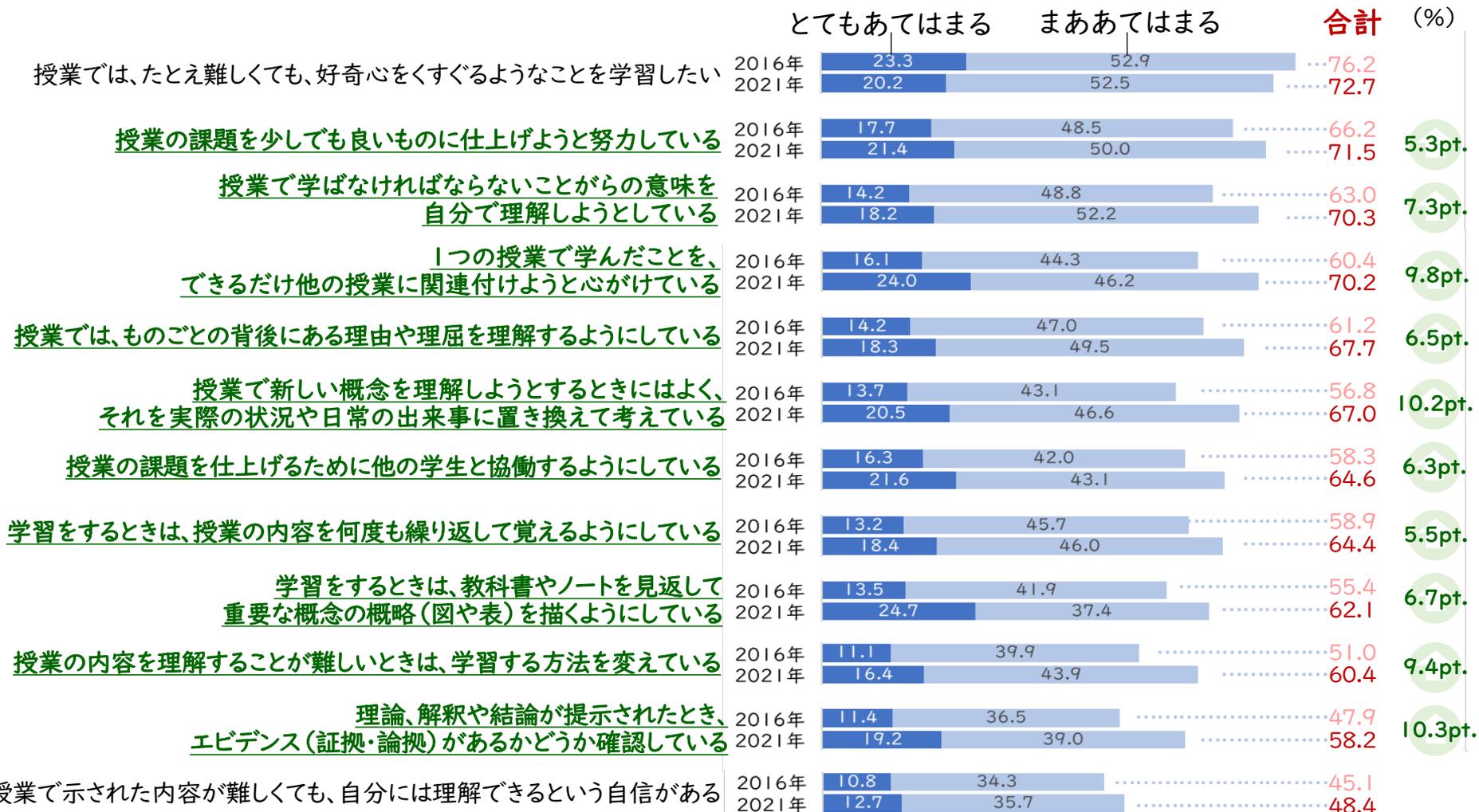
※4時点で比較できる項目のみを抜粋、2012年と2016年の数値の表記は省略した。

# ◆学習に対する態度

【20】

## ●科学的な学習態度に対する肯定率（自己評価）が高まっている

◆ふだんの大学での学習について、次のことがどの程度あてはまりますか。

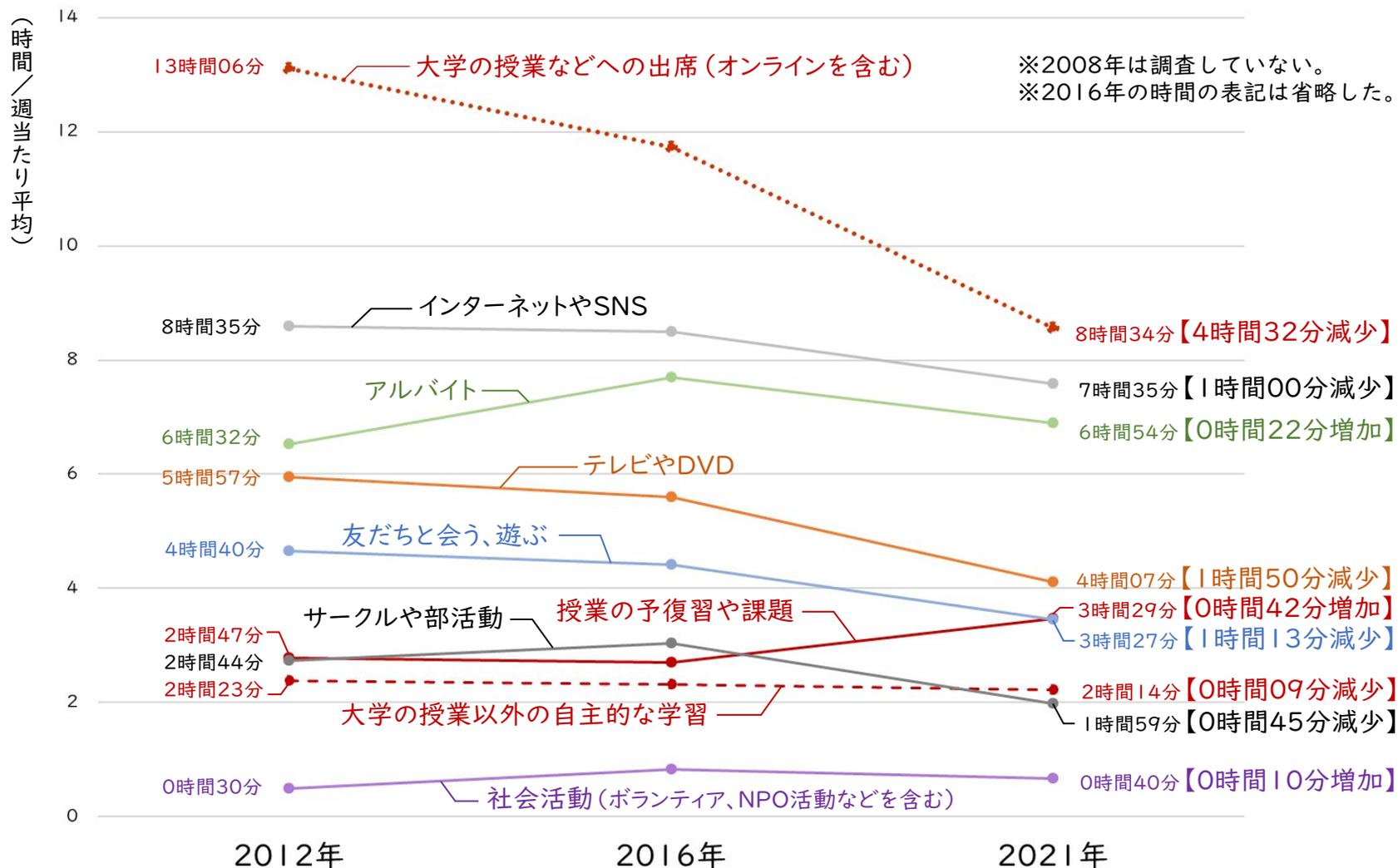


※2008年、2012年は調査していない。

# ◆生活時間

## ●授業は大幅減の一方で、予復習・課題は微増、自主学習は変化なし

◆次の項目は1週間（月曜日～日曜日）で何時間くらいになりますか。

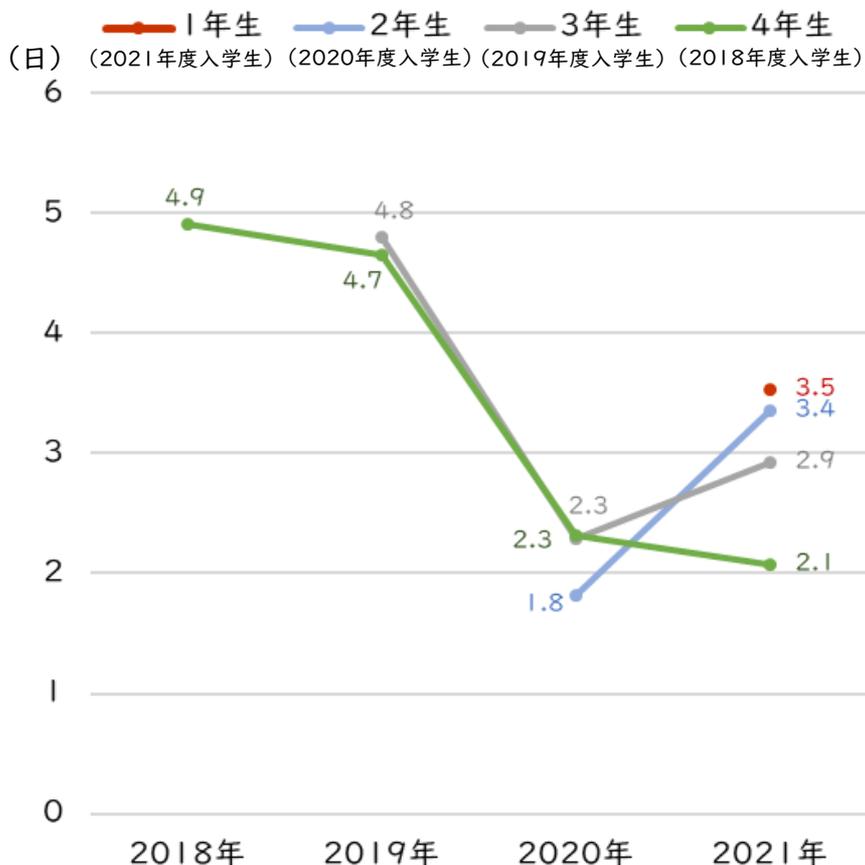


# ◆登校日数

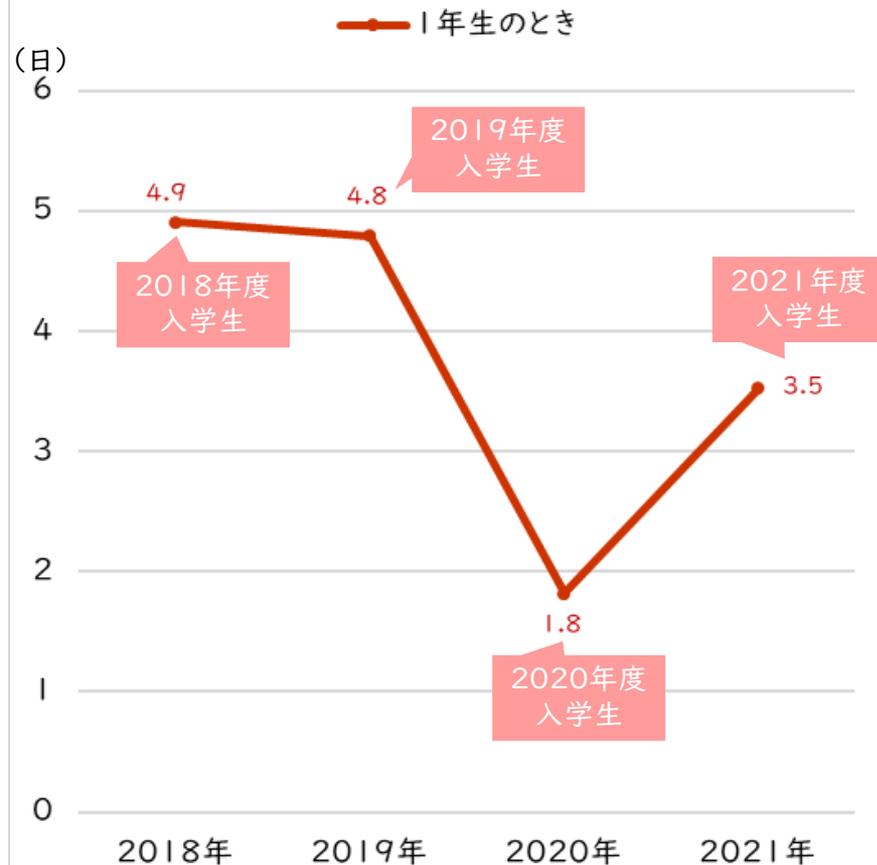
●平均登校日数は**回復基調**にあるが、**19年の水準には戻っていない**

◆あなたは、1週間のうちで何日くらい大学のキャンパスに通っていますか。  
1年生から現在までの状況について、だいたいの通学日数をお答えください。

## ●平均登校日数（学年別）



## ●1年生のときの平均登校日数



※2021年調査のみの質問。対象者に各学年のときの登校日数（週当たり）を回答してもらった。

# ◆授業の形態／効果実感

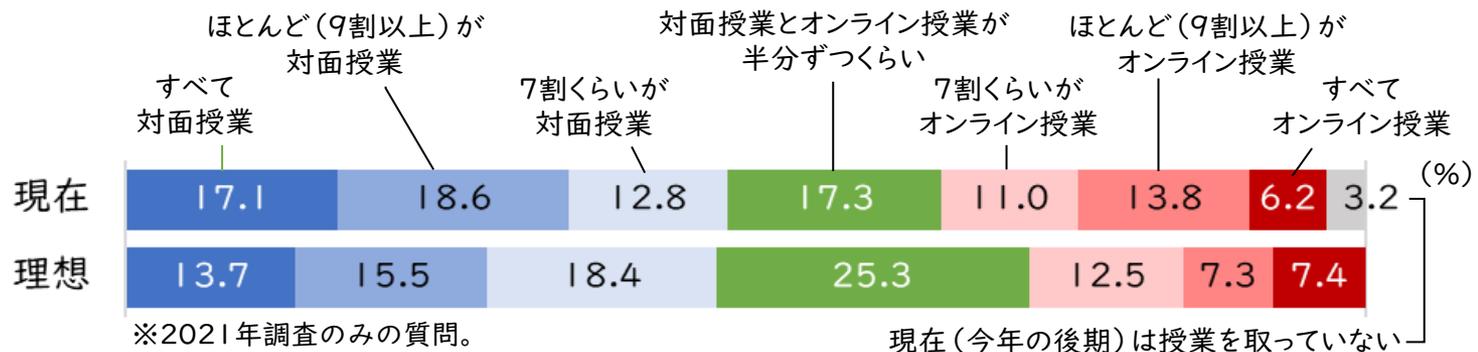
【23】

●現在の授業形態は、「対面が多い」5割、「オンラインが多い」3割

◆（現在）対面授業とオンライン授業は、どれくらいの割合で行われていますか。

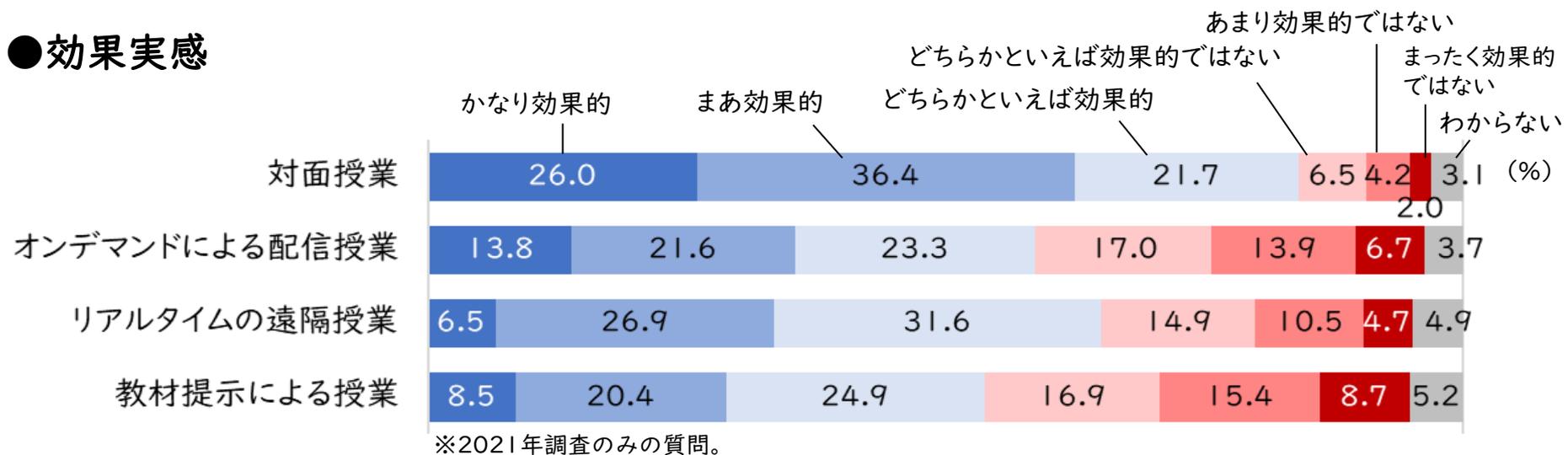
◆（理想）対面授業とオンライン授業は、どれくらいの割合で行われるのが良いと思いますか。

## ●授業の形態



◆次のような授業の形態は、学習成果を高めるのにどれくらい効果的だと思いますか。

## ●効果実感

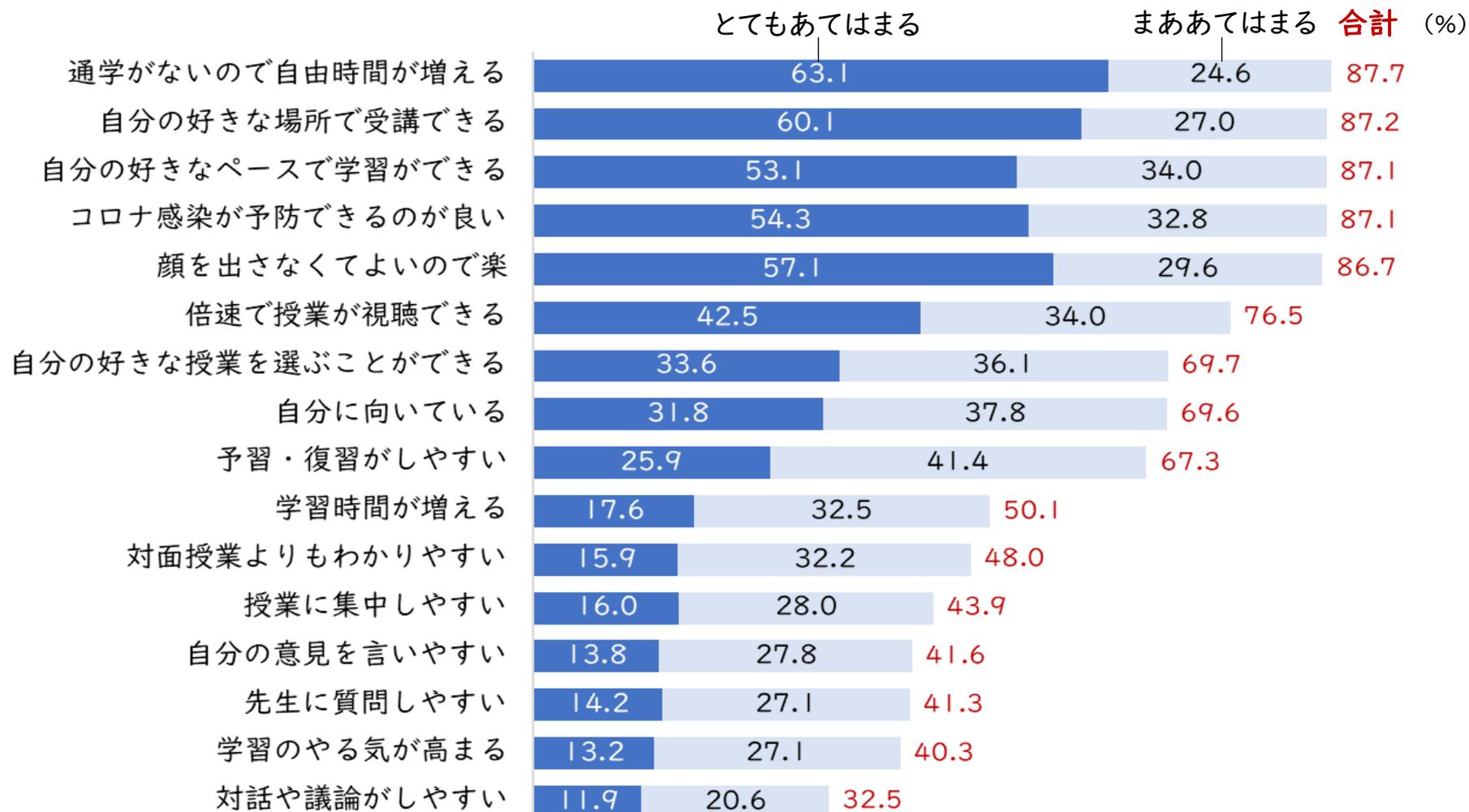


# ◆オンライン授業のメリット

【24】

●学習効果よりも、**自由・マイペース**にできることの**評価が高い**

◆オンライン授業のメリットについて、あなたはどのように思いますか。



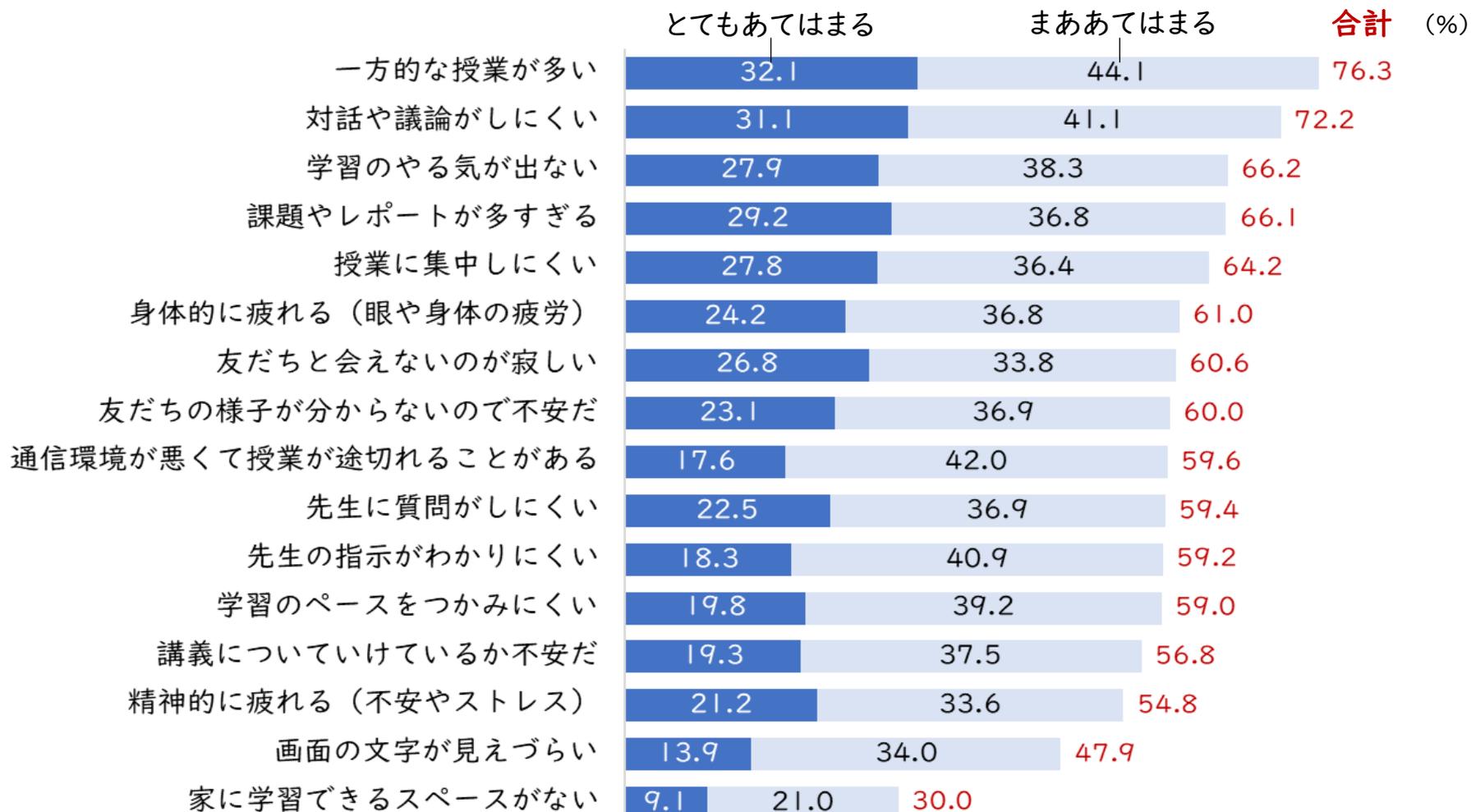
※2021年調査のみの質問。

# ◆オンライン授業のデメリット

【25】

●「一方的な授業が多い」「対話や議論がしにくい」が7割台が多い

◆オンライン授業のデメリットについて、あなたはどのように思いますか。



※2021年調査のみの質問。

# ◆身についての資質・能力

## ●協働的な学びで身につく資質・能力の自己評価が高まっている

◆次のようなことについて、大学生活全体を通じてどの程度身についたと思いますか。



※2012年、2016年の結果は、図から省略した。